

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

9 / 15 JR東本社「乗務員の業務等の見直し」提案 乗務員の労働時間を削り取るな!

提案概要（一部要旨）

- 早目出場の見直し
(現行) 列車到着時刻の**3分前までに乗継箇所に出場する**
(変更後) 列車到着前までに乗継箇所に出場する
- 乗継後の発車看視を廃止
(現行) 乗継ぎ後、**列車が乗継箇所を通過後に**その場を離れることができる
(変更後) 乗継ぎ後、その場を離れることができる
- 入区点検の見直し（在姿状態確認廃止）
現行の入区点検（1. 機器及びスイッチ類の整備、**2. 在姿状態確認**、3. 転動防止、4. 乗務員室の鎖錠）から在姿状態確認を廃止
- 点呼箇所と休養室間の移動時間の取扱い
これまで労働時間としてきた**点呼箇所と休養室間の移動時間を、原則として労働時間と扱わない**
- 起床点呼後における付加時間の一部見直し
起床点呼後の**付加時間5分を削除し、労働時間として計上しない**
- 帰着点呼の廃止
自区所に帰着後、乗務内容の報告を行う**帰着点呼を廃止**し、乗務内容報告は終了点呼時に行う
- 運転士による始発列車のドア扱い等を全支社に拡大
乗客の利便性向上、車掌の出場を遅らせることができる、ワンマン運転等の拡大を見据えること等が目的

9月15日、JR東本社は乗務員の業務見直しを提案しました。

仕事は変わらず労働時間減

仕事の実態は何も変わらないのに、形式上の労働時間だけ「3分」「5分」と削られています。一路の労働時間を削減し、長大行路・ロングラン行路を強制して要員を削減する攻撃です。

起床時の労働時間削減で「睡眠

.....

時間が確保できる」など真っ赤なウソです。宿泊場所から点呼場所までの移動も、点呼後に必要な仕事も変わりません。どちらも業務上必要な時間であり本来なら労働時間です。それを「労働時間ではない」というのは泥棒と同じです。この間、コロナ感染症対策で乗務員には宿泊時のシート交換が「サービス残業」として強制されています。さらに労働時間を削り

.....

取るなど絶対に許せません。
合理化攻撃に反撃しよう
発車看視、入区点検削減等は合理化と労働強化が目的です。運転士による始発列車のドア扱いは、ワンマン運転化と、すべての負担を運転士に押し付ける攻撃です。「コロナ禍」「赤字」を口実にした安全軽視と、さらなる乗務員への負担増は許せません。